

● 出題の基本方針

グローバル社会における実践的な英語コミュニケーション能力の測定を基本方針として出題した。現代社会が直面する多様な課題——移民・難民問題、高齢化社会と外国人労働者問題、環境と健康、絶滅危機言語の保護——を題材とし、受験生には単なる語学力にとどまらず、これらの社会問題に対する理解と思考力を求めた。英語を通じて世界の現実を知り、多角的な視点から物事を捉える国際的な教養を身につけることの重要性を重視した問題構成となっている。

● 出題の構成

4大問での構成。

大問1・2では長文読解問題で、内容把握や正誤問題を中心に出題されている。

大問3では空所補充問題で、80字程度の英文中の空所に適切な語(句)を選択している。

大問4では整序英作文で、与えられた日本語の意味を表すように英文の並べ替えを行う。

● 学習上のアドバイス (参考)

英語読解力の向上には、まず基礎的な語彙・文法力の定着が不可欠である。単語学習においては、単純な日本語訳の暗記ではなく、英英辞典の活用や実際の文章での使用例を通じて、語彙の持つニュアンスや使用場面を理解することが重要である。類義語の使い分けや、formal・informalな表現の区別についても意識的に学習する必要がある。文法学習では、個別の規則の暗記にとどまらず、文章全体の論理的構造の中での各要素の役割を理解することを心がけるべきである。長文読解においては、パラグラフごとの要旨を整理し、文章全体の論理展開を追跡する訓練を積むことが効果的である。特に、具体例と抽象的概念の対応関係、原因と結果の因果関係、筆者の主張とその根拠の区別を明確に把握する力を養うことが重要である。多様なジャンルの英文に日常的に触れることで、文体やジャンルに応じた読解スキルを向上させることを推奨する。実践的なコミュニケーション能力の育成には、言語知識の習得と並行して、英語圏の文化的背景や社会常識についても理解を深める必要がある。相手との関係性や場面の性質に応じた適切な表現選択ができるよう、実際の使用場面を想定した練習を重ねることが効果的である。また、現代社会の様々な問題について英語で情報収集し、自分なりの見解を英語で表現する練習を通じて、言語能力と思考力を統合的に伸ばすことが、国際コミュニケーション能力の向上につながるであろう。